

「課題名：骨感染症におけるダプトマイシン含有セメントの有効性と安全性の検討」について

○ 研究の意義・目的

当院における骨髄炎およびインプラント感染に対するダプトマイシン含有セメントの有効性を明らかにすることを目的とし、有害事象や感染症再燃の有無について調査します。ダプトマイシン含有セメントの有効性については、近年、臨床的に報告されていますが、症例数が少なく更なる検証が必要であり、この調査は重要であると考えました。

○ 研究対象者

平成26年1月1日から平成29年12月31日までに、広島大学病院にて骨感染症に対してダプトマイシン含有セメントを用いた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、患者基本情報（身長・体重など）、治療歴、感染症の原因菌、ダプトマイシン投与量、セメント使用量、セメント充填期間、副作用発現状況 です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間 委員会承認後～平成32年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 久保 有子（担当者）